

施設名	寿児童館	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	------	----------	-------------------

### 1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、昭和 6 1 年 1 0 月に設立。区立の児童館・こどもクラブおよび高齢者福祉施設の管理・運営を受託している。
②類似施設の管理実績	児童部門：児童館 7 館、1 3 こどもクラブ 高齢者部門：特別養護老人ホーム、老人保健施設、老人福祉センター等の運営
③経営状況	(19 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]収入 2,401,341,470 円,支出 2,355,808,519 円,収支差額 45,532,951 円 [公益事業特別会計]収入 361,979,008 円,支出 340,218,519 円,収支差額 21,760,489 円

### 2. 施設の概要

①所在地	台東区寿 1-4-5
②設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。
③利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
④開館日・開館時間	月曜日から土曜日：9:30~18:00 日曜日(第3日曜日を除く)は一部開放 9:30~18:00 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)
⑤規模	R C 造 地上 3 階地下 2 階建 (寿保育園併設) 事務室、図書室、遊戯室、図工室、こどもクラブ室
⑥人員体制	常勤職員 3 人、短時間職員 4 人

### 3. 事業(サービス提供)の概要

①委託事業	①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用をとおして児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びをとおして児童の集団的及び個別的指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業
②自主事業	①地域懇談会実施 ②中学生と赤ちゃんのふれあい事業 ③父親の育児参加支援事業 など

### 4. 施設の稼働状況等

#### 寿児童館利用状況

年度	開館日数	総数	幼児	小学生	中高生	大人
17	334	31,684	2,693	23,722	1,374	3,895
18	335	35,494	2,645	25,274	1,344	6,231
19	335	37,826	3,049	26,574	1,393	6,810

### 5. 予算決算の推移

(単位：円)

年度		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	31,604,000	29,330,000	33,698,000	37,773,000	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	31,604,000	29,330,000	33,698,000	37,773,000	
決 算	委託料	24,858,291	29,974,207	35,216,328		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	24,858,291	29,974,207	35,216,328		
	収 支	0	0	0		

6. 評価項目		
3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目		
評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.3]	(1) 施設の目的達成 [3] (2) サービス水準 [3] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [3] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.6]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [3] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [3]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [-]
7. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A+	単に事業を実施するのではなく、異年齢の児童・保護者・地域・関係機関を繋ぎ、子ども達のより良い暮らしについて共有しており、開かれた施設の実現に努めた事業実施が行なわれている。
②施設の維持管理	A	施設については、日常の清掃や安全管理に努めており、施設管理も記録されている。
③利用者の満足度	A+	地域懇談会を開き、地域の方々・保護者の意見、要望、子育て課題の共有を図っている。南部地区の児童施設として見守りの役割を果たしており、保護者から区に対しても、安心の声が寄せられている。
④歳入歳出	A	指定管理者として、職員全体で経営改革に努力しており、経費の削減、効率性の向上に努力している。
⑤総合評価	A+	施設構造が使いにくい工夫に限界もあるが、利用者数が増加している。利用者の要望の把握・分析を行い、今後活かしていく姿勢がある。
8. 課題への対応等		
<p>大江戸線、つくばエクスプレスの開通で、マンション建設が進み、新たな転入世帯も多い地域にある。そのため、核家族、価値観の違う保護者同士の行き違いの相談、調整、要望に応えるための体制作り(職員の相談・苦情対応力向上、関係機関とのネットワーク)が求められることも多い。個別な対応が必要なケースも増えているため、職員のスキルアップ研修を増やしたり、トラブルなどの緊急時対応マニュアルの整備をしていく。業務が円滑、有効に推進できるような業務基準書を策定し、役割や協力体制を区としても明確化していきながら、関係機関との調整や指導を行う。</p>		